

朝ごはん



- ◇栄養教諭を中心に朝食の授業を実施するとともに、給食便りなどを通して家庭との連携をはかっている。5、6年生が吹田市で行われた「自分で朝食を作るコンテスト」に参加し優秀賞をはじめ多くの賞を受賞した。
- ◇『食』を中心とした生活振り返りアンケートを年に1、2回実施している。生活習慣を見直すきっかけとなり、保護者にも多くの感想をいただくなど、家庭との連携もはかっている。
- ◇朝礼時、「自分の体や健康について考えよう」と、健康劇場（教職員による劇）を行い全児童に啓発している。また、給食委員会を中心に、『食』に関わる内容の替え歌を作り、楽しい振り付けを入れて発表し、最後は全児童で楽しく歌ったり踊ったりしながら取り組んでいる。

朝のあいさつ



- ◇小中連携を目指した中学校ブロックでの生活指導の取り組みの一つとして【ABC運動】がある。A（あいさつ）B（ベル着…時間を守る）C（クリーン…学習できる環境作り）。特にあいさつはコミュニケーションの第一歩として力を入れている。小学校でのこの取り組みが中学校でも活かされている。
- ◇最寄りの駅から学校までの交通量の多い交差点では、地域の方々が、正門では学校長と学校警備員が毎朝、登校してくる子どもたちに声かけをし、見守っている。

朝の読書



- ◇毎週水曜日・金曜日の朝（8時30分～8時40分）になると音楽が流れ、『朝読タイム』が始まる。本を読む習慣をつけることはもちろん、落ち着いた気持ちで一日をスタートさせることにもつながっている。
- ◇水曜日には、1～3年生を対象に地域の読み聞かせボランティアの方が、いろいろな本を読んでくださり、子どもたちはとても楽しんでいる。
- ◇小学校入学から中学校卒業までの9年間で100冊の本を読む『中学校ブロック100冊の本』という目標を掲げ、図書室におすすめの本コーナーを設けている。読書支援者にも、読み聞かせや貸し出し、本の紹介を積極的にしてもらっている。